

提出 順番	No 2	平成24年8月31日 午前・午後10時30分受領
----------	---------	-----------------------------

平成24年8月31日

幕別町議会議長 古川 稔 様

幕別町議会議員 斉藤 喜志 雄 

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨
1. フッ化物(フッ素)洗口の実施について。	<p>一生懸命に「ブクブクうがい」する園児！という可愛い子ども達の写真と共に、幕別町が今年度から公立幼稚園・保育所で導入したフッ化物洗口が、8/18日の忠類保育所を皮切りに8/31日までに6保育所・1幼稚園で行われるとの新聞報道があった。</p> <p>これはむし歯予防策のひとつとして、2009年6月の道議会において、「北海道歯・口腔の健康づくり 8020 推進条例」の可決・施行されたのを受けて実施されたものと承知している。このフッ化物洗口によるむし歯予防については、世界的にも賛否両論があり、いわゆる先進国と呼ばれる国々にあっても、フッ化物によるむし歯予防の見直しが検討されるなど、中止の方向にむかっている。とも言われている。</p> <p>なお、道の条例制定にあたっては、賛否両論があったことから、付帯意見（「フッ化物洗口を一律に実施せず、子ども（保護者の意向）の自主性を尊重して実施される」）が確認されている。</p> <p>一方、むし歯予防については、近年、生活習慣の変化や、歯・口腔に対する健康意識が高まったこともあり、子どものむし歯の保有率は急激に減少してきている状況にあるともお聞きをする。</p> <p>つきましては、集団フッ化物洗口を推進する立場にある幕別町として、その必要性・有効性・安全性などについてどのような見解や所見をお持ちかお伺いする。</p> <p>(1) なぜ、集団フッ化物洗口を実施するのか。(必要性) (2) 集団フッ化物洗口の実施によりどのような効果が期待できるのか。(有効性) (3) 集団フッ化物洗口には、危険はないのか。(安全性)</p>

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
<p>2. 教育現場の勤務条件などの改善について。</p>	<p>長期休業（夏休み）が終わり、学舎では子ども達の元気な声と、明るい笑顔がはじける二学期が始まりました。その学校には、児童生徒のあらゆる可能性を育むことに相応しい研修の機会が保障されていなければなりません。昨今、この研修の機会が時間的にも範囲的にも限定され、認められなくなってきていると言われていいます。これでは保護者の期待に応え、児童生徒の可能性を育てる教師の力量は確保できないのではと危惧するところです。</p> <p>次に、教育現場での業務の多忙化は、これまでもしばしば取り上げてきたところですが、今もつて部活動（少年団）の指導と引率、事務処理、いじめや生徒指導、教材の準備など、学校での超過勤務のみならず、家庭に仕事を持ち帰らざるを得ないような状況が続いているのが現実であります。（有給休暇も満足に取得できない実態）</p> <p>教職員が、児童生徒との触れ合いの時間を増やし、授業づくりに集中し、健康で子ども達と接するためにも時間外勤務の縮減が強く求められているものと考えます。</p> <p>以上、数々ある教育現場の課題から勤務条件に関する二課題について所見をお伺いする。</p> <p>(1) 教特法が、研修の積極的な活用を目指していることを踏まえ、研修機会の拡大、とりわけ校外研修を積極的に進めるべきと考えるが如何か。</p> <p>(2) 教職員の力量（資質）と学力向上のためにも、研修旅費の増額を図るべきと考えるが如何か。</p> <p>(3) 道教委の通知を踏まえ、勤務時間の適正な管理と時間外勤務の縮減など、どのような改善策を講じてきたか。</p>